

ソーシャルワーク演習Ⅲ 評価ルーブリック

評価項目	A (25点)	B (20点)	C (15点)	D (1つでも該当すれば不合格)
ソーシャルワーク演習に主体的に取り組むことができる。(D)	教員の助言を参考に、主体的に取り組むことができる。	教員の指導のもと、主体的に取り組むことができる。	教員の手厚い指導のもと、主体的に取り組むことができる。	主体的に取り組むことができない。
実技指導を中心とする演習形態により、講義及び実習と関連させながら、援助援助技術を、個別・集団指導を通して習得できる。(D)	教員の助言を参考に、保健福祉領域における相談援助技術を身に付けることができる。	教員の指導のもと、保健福祉領域における相談援助技術を身に付けることができる。	教員の手厚い指導のもと、保健福祉領域における相談援助技術を身に付けることができる。	保健福祉領域における相談援助技術を身に付けることができない。
学生が自分自身で学習し、考え、主体的に行動する態度を涵養できる。(D)	教員の助言を参考に、自分自身で学習し、考え、主体的に行動することができる。	教員の指導のもと、自分自身で学習し、考え、主体的に行動することができる。	教員の手厚い指導のもと、自分自身で学習し、考え、主体的に行動することができる。	自分自身で学習し、考え、主体的に行動することができない。
人権尊重、権利擁護、自立支援、地域福祉の基盤整備と開発に係る相談事例について、在宅での生活支援も視野に入れて理解できる。(D)	教員の助言を参考に、人権尊重、権利擁護、自立支援、地域福祉の基盤整備と開発に関する能力を身に付けることができる。	教員の指導のもと、人権尊重、権利擁護、自立支援、地域福祉の基盤整備と開発に関する能力を身に付けることができる。	教員の手厚い指導のもと、人権尊重、権利擁護、自立支援、地域福祉の基盤整備と開発に関する能力を身に付けることができる。	人権尊重、権利擁護、自立支援、地域福祉の基盤整備と開発に関する能力を身に付けることができない。